



伊勢志摩サミット  
情報届かず、期待と不安が交錯  
県民の声を知事に申し入れ!

山本りか県議と岡野恵美県議は13日に志摩市役所、観光協会、真珠養殖漁業協同組合、地域住民のみなさんに聞き取り調査を行い、また、地元だけでなく県内各地から寄せられる声を調査確認しました。

県費の膨大な支出、大きな宿泊施設や大手建設業、旅行会社などの一部の利益につながるだけの経済効果、県民そっちのけで負担を強いていることが大きな問題です。サミット開催まで1ヶ月となる中、日本共産党三重県議団は25日、県民から直接聞いた不安や疑問の声を取り上げ、15項目にわたる申し入れを鈴木英敏知事あてに行いました。

サミットが真珠養殖の玉入れの時期であり、仕事の手配のためにも一刻も早い情報の提供と調整が求められており、損失が出た場合の補償も要望。「伊勢志摩サミット宿泊予約センター」が営業せずに調整するだけで仲介料を10%も取るのは高すぎるという宿泊施設の声も伝えました。

また、テロ対策が呼びかけられ、検問の演習や警備など、今でも物ものしい雰囲気や観光地として痛手であることもあげ、対応を求めました。道路の整備や改良工事などで激しい渋滞が起き、観光や地域生活に影響がでていることも伝え、交通規制など余裕をもった周知を求めました。

(申し入れ書全文はHPからご覧ください)

## 議会 レポート 102 議案中 29 議案に反対

2016年度一般会計当初予算 7,461 億円が可決されました。

その中には、2015年度に続きサミット関連費用 26 億円が含まれています(2年間で93億円)。県警ではサミットに係って、10億円ものテロ対策費を計上。一方、信号機の新設は、ここ4年間毎年30機整備してきたものを11機とするなど、県民の交通安全のための費用などが削減されています。他にも、県民サービス経費が軒並み3割カットされています。

山本りか県議は、『高すぎる国保料』『のしかかる医療費』『保険あって介護なし』『切り下げられる生活保護』『入れない保育園』など、の悲鳴が上がる中、福祉充実への県民の願いは切実だ。社会保障のためと消費税増税をした分のうち来年度も135億円が地方消費税収として県へ入るが、値上げ前の2013年度と比較すると、874億円だった社会保障費関連費は、926億円と52億円の増額にしかっていない。『消費税引き上げはすべて福祉に回す』というのなら、もっと改善されてしかるべき。県政が、国の悪政から県民を守る防波堤になっていない」と反対討論。

また、一期目の公約で知事給与を引き下げる特例を作り日本一給料の安い鈴木英敏知事でしたが、特例を廃止し元に戻すことや、議員給与を増額する条例改正には「知事の信念もそこまでだったのか」「生活困窮が進む県民生活の状況を見れば値上げは許されない」と反対討論しました。

102 議案のうち 29 議案に反対しましたがいずれも賛成多数で可決されました。

### 賛否が分かれた主な議案と結果 【3月22日】 102 議案のうち 29 議案に反対・63 議案に賛成 県民請願 5 件にはすべて賛成 (日本共産党県議団)

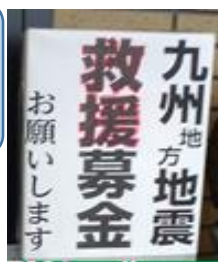
	山本りか議員	芳野正英議員	田中智也議員	稲垣昭義議員	石田成生議員	津田健児議員	山内道明議員	結果
議案								
	×	○	○	○	○	○	○	可決
	×	○	○	○	○	○	○	可決
	×	○	○	○	○	○	○	可決
	×	○	○	○	○	○	○	可決
	×	○	○	○	○	○	○	可決
	×	○	○	○	○	○	○	可決
	×	○	○	○	○	○	○	可決
請願	○	×	×	×	×	×	×	不採択
	○	○	○	○	×	×	×	採択

子ども・障がい者・一人親家庭の医療費の「窓口無料」については2回にわたって関係請願が採択されていますが、今年度も実現されませんでした。  
子どもの貧困対策・子育て支援の掛け声の中で取り残されていく三重県。全国では立て替え払いでなく窓口無料が当たり前です。

～ 議会報告に努めました ～

「山本りか県議会報告(月刊)」  
第1号～第12号  
「三重県議団議会報告」夏号・冬号  
「議員団の活動記録集 2015年版」  
お知らせいただければお届けします。  
通信はHPからもご覧いただけます。  
各地域で議会報告会を開催しました。

熊本地震被災地救援募金にご協力ください



ご協力いただいた義援金は、日本共産党の三重県委員会から熊本県委員会へ送金します。  
被災地の自治体や関係機関への義援金として、またさまざまな被災者救援活動を通じて確実に被災者の救援にあてていきます。

三重県議会は全国で2番目に「戦争法廃止」の意見書を採択(12月議会)し国に提出しました